



“安全で楽しい夏休みを！”

本当に早いもので、公立小中学校の夏休みまで残り3週間足らずとなりました。129人の蒲生てんてんこども園の子どもたち全員が、元気に夏本番を迎えることができることを、大変うれしく思います。この間、保護者や関係者の皆様には深い御理解と御協力をいただき、心から感謝いたします。

夏は子どもたちにとって、野山や川、海などの自然に親しむことにより、それらの自然の中で心身を鍛えるのに絶好の機会かと思えます。また、日常の園生活では得ることが困難な体験をさせることにも、大きな意義があると思えます。

しかし、子どもたちが園を離れる時間が多くなると、一番心配されることが、保護者の油断や生活習慣の乱れから起こる事故・病気です。園では、全園児が無事故で病気の無い楽しい夏にし、有意義に過ごすことができますよう、全職員が協力して指導を進めてきました。御家庭や地域においても、園の指導方針を御理解いただいて、子どもたちが安全で楽しい夏になりますよう、御配慮方よろしくをお願いいたします。



“こんな親になってほしい！”



【第14回】「子育てには3つの時期がある」

どんな動物にも、子どもを産んだ親が子どもを育てていくのに、3つの時期があります。最初は、子どもが生まれてしばらくの間です。子どもは母親に抱きついて離れません。また、親は何をするにも、子どもを抱きかかえて離すことはありません。

次は、子どもが少し大きくなった時期で、生きていくのに必要なことを、親は一生懸命に教え込んでいきます。そして最後に、教えたことを子どもが身につけた頃になると、サッサと自分の手元から離してしまいます。

人間で言えば、0歳から2歳の頃まではお母さんの胸にしっかり抱いて、心の安定と人を育てる時期です。そして、3歳から小学2年生くらいまでは、世の中を清く、正しく、たくましく生き抜いていく生き方を、身体を通して教える時期です。

我が子の3歳から小学2年生は、わたしの離島勤務の時期と重なり、たくましく生き抜いていく生き方を地元の方々から教えていただき、親として本当に感謝しております。

子育ての9割は周りの方々の御協力により成り立つと考えます。自分だけで悩み・苦しむよりも、周りに甘えてみることで、子育ての秘訣かもしれません。



【園長からのお願い】

- 1 朝8：45までの登園に御協力ください。(保育活動に大変影響します。)
- 2 生活リズムを整えてください。(朝眠そうな子どもがいます。)
- 3 自分でできることは、自分でさせてください。(教育の最終目標は自立です。)